

令和 6 年度 『 臨床看護実践演習 (30 時間 1 単位 対象 : 3 年生) 』

授業風景

現在、病院で実際に用いられている看護方式 (PNS 方式) を、授業でも取り入れています。

(PNS 方式とは、看護師がペアを組んで複数の患者を受けもち、対等な立場でお互いの特徴や能力を生かし、補完・協力しあって看護することです)



各チームで担当患者さんの看護を考え実践します。その看護が良かったかどうか、患者役の意見を聞き、最善の看護を追求しています。



各チームのリーダーが集まり、リーダー同士でも話し合います。そして、より良い看護ができるよう、チーム全体で共有します。

OSCE

11 月、3 年間の集大成として

OSCE (Objective Structured Clinical Examination)

「客観的臨床能力試験」が行われました。

OSCE は、判断力・技術・マナーといった基本的な臨床技術を客観的に評価する上で、実際の現場で必要とされる臨床技術の習得を適正に評価する有効な方法といわれています。



試験 (OSCE) では、学生がペアとなり、3 人の患者さんの看護を実践しました。

患者さんがどのような状態であるのか、困っていることに対してどのような看護をしていくのか、ペアで話し合い、協力し合いながら、実践しました。

今年は、地域の方々 (9 名) と病院の看護師さん (9 名) が患者さん役として参加してくださいました。

3 年生



全員合格

地域の方々、病院の看護師さんたちに愛されて育ちました。